

JUKI TL-82

一本針本縫い職業用ミシン 使用説明書

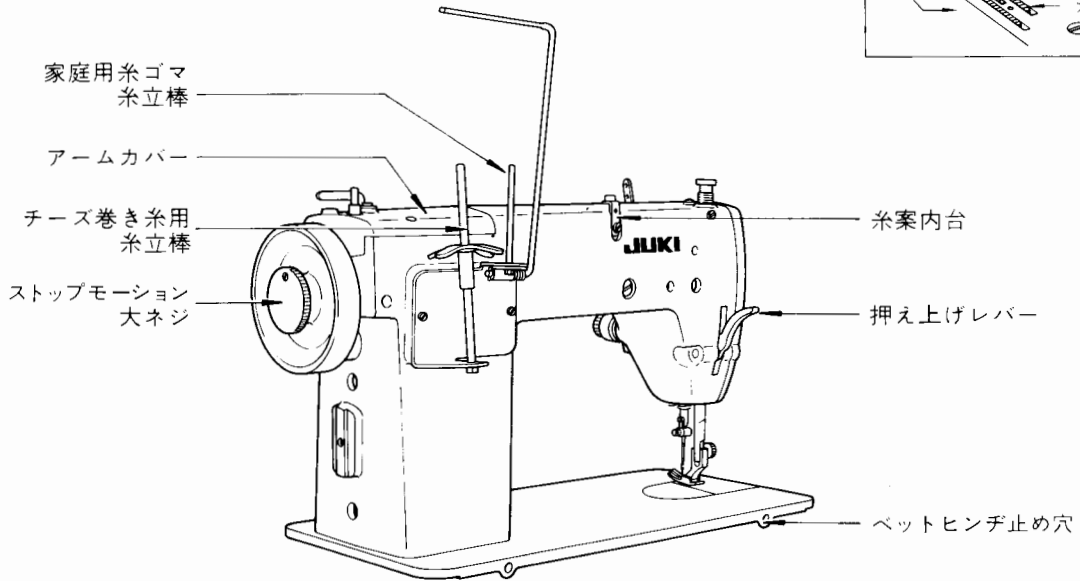
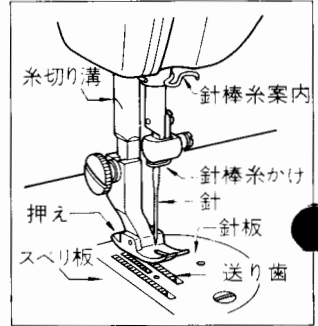
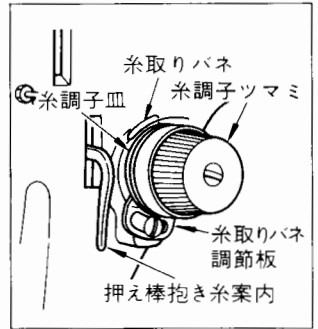
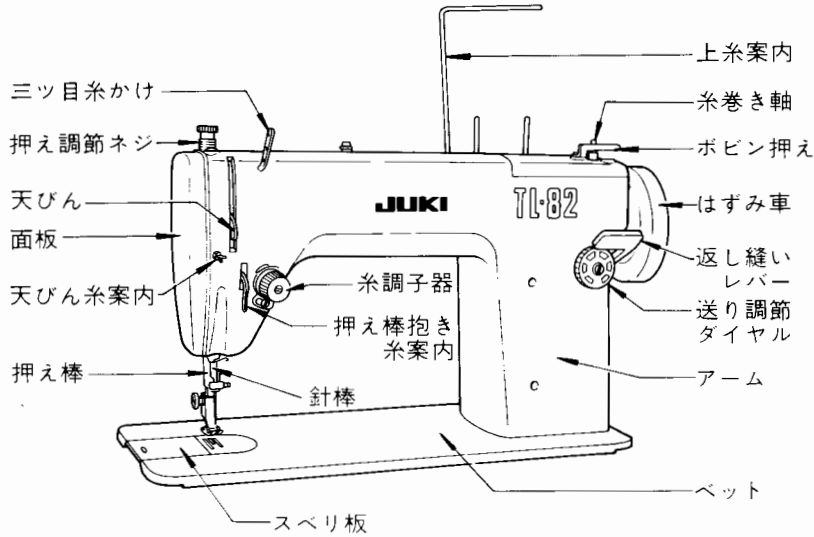
お買い上げ誠にありがとうございます。
TL-82型 職業用ミシンは一本針2回転ガマの本縫いミシンとして、あらゆる種類の衣料品縫製用として、すばらしい性能とその正しい使い方をご理解いただくために、どうぞこの使用説明書をよくご覧になって末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

各部の名称と主なはたらき	1
送り調節ダイヤルと返し縫いレバー	1
押え上げ	1
押え調節ネジ	1
糸立て棒のセット	2
下糸の巻き方	2
ボビンのセット	2
上糸のかけ方	3
下糸の出し方	3
試し縫い	3
(縫い始め・縫い方向の変更・返し縫い・縫い終り)	
糸調子のとり方	4
布地・ミシン糸・針との関係	4
針のとりかえ方	4
糸案内台(下糸巻き)の調整方法	5
糸取りパネの調整方法	5
糸取りパネの運動量の調整方法	5
送り歯高さの調整方法	5
注油のし方	6
ランプ(別売品)の取っけ方	6
かざりステッチ縫いについて	6
仕様表	6
調子よく縫えない原因と調整方法	裏表紙



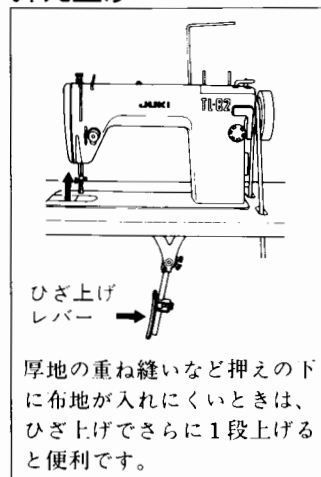
各部の名称と主なはたらき



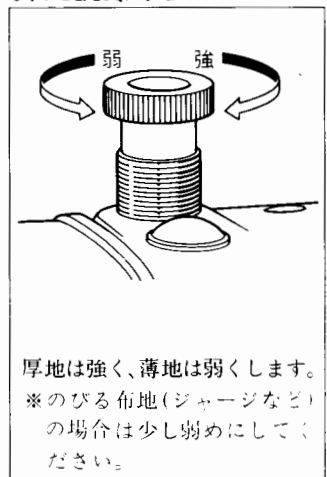
送り調節ダイヤルと返し縫いレバー



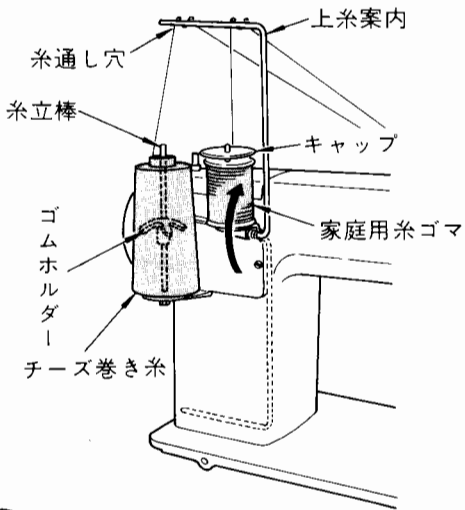
押え上げ



押え調節ネジ

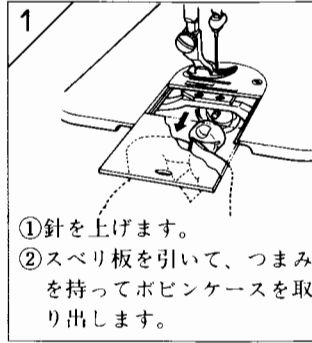


糸立て棒のセット



- 糸立て棒に糸ゴマをたてます。
 ※家庭用糸ゴマの場合はキャップを使用してください。
 ※チーズ巻き糸の場合はゴムホルダーの上からさし込みます。
- ② 上糸案内を起します。
- ③ 糸を糸通し穴に通します。

下糸の巻き方



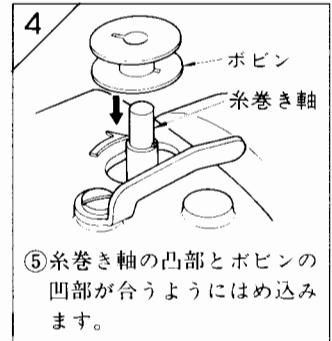
- ① 針を上げます。
- ② スペリ板を引いて、つまみを持ってボビンケースを取り出します。



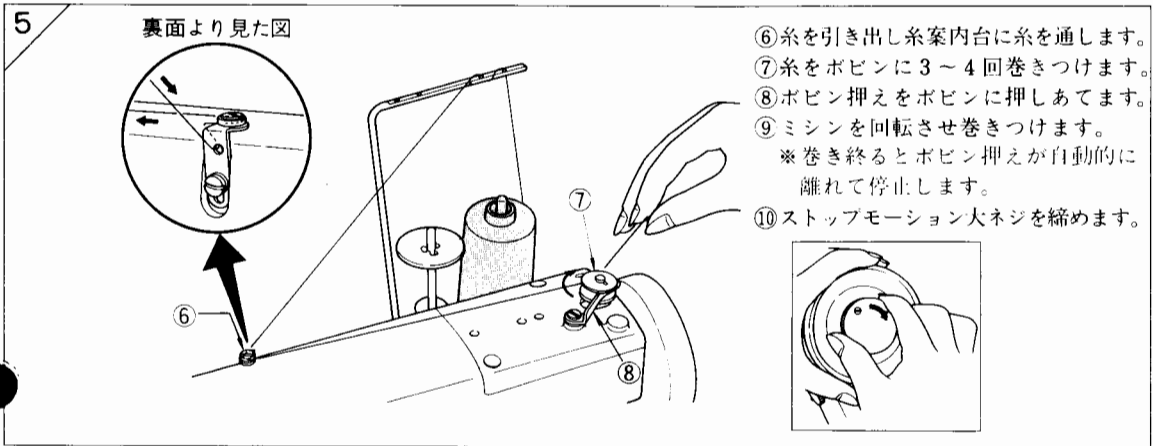
- ③ つまみを閉じてボビンを取り出します。



- ④ ストップモーション大ネジをゆるめます。

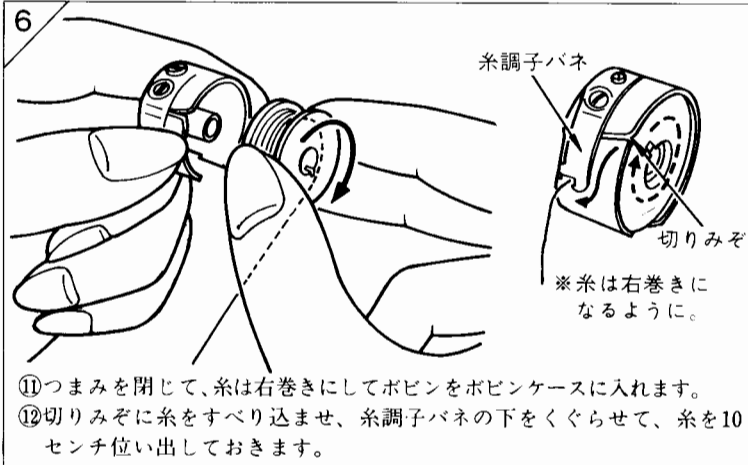


- ⑤ 糸巻き軸の凸部とボビンの凹部が合うようにはめ込みます。

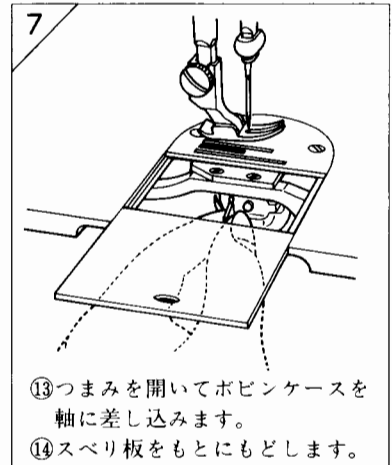


- ⑥ 糸を引き出し糸案内台に糸を通します。
- ⑦ 糸をボビンに3~4回巻きつけます。
- ⑧ ボビン押えをボビンに押しあてます。
- ⑨ ミシンを回転させ巻きつけます。
 ※巻き終るとボビン押えが自動的に離れて停止します。
- ⑩ ストップモーション大ネジを締めます。

ボビンのセット



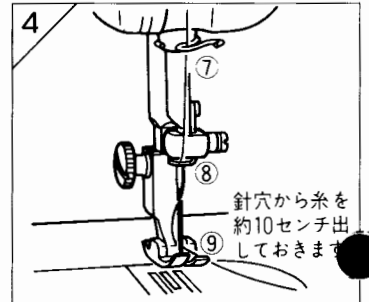
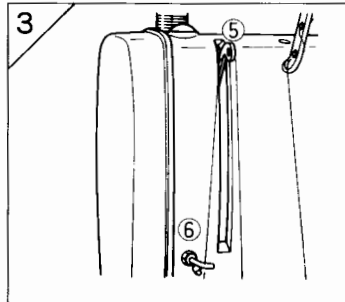
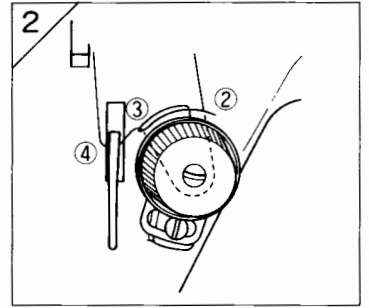
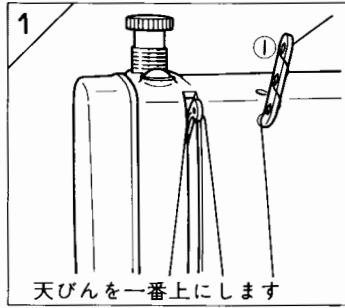
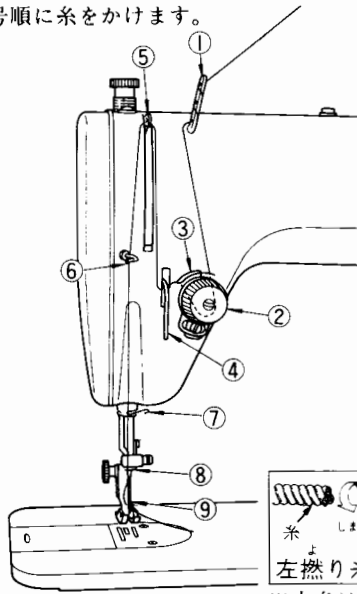
- ⑪ つまみを閉じて、糸は右巻きにしてボビンをボビンケースに入れます。
- ⑫ 切りみぞに糸をすべり込ませ、糸調子バネの下をくぐらせて、糸を10センチ位出ししておきます。



- ⑬ つまみを開いてボビンケースを軸に差し込みます。
- ⑭ スペリ板をもとにもどします。

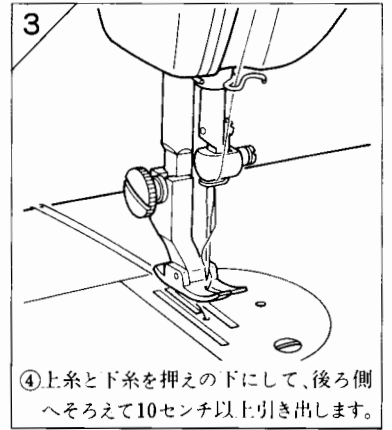
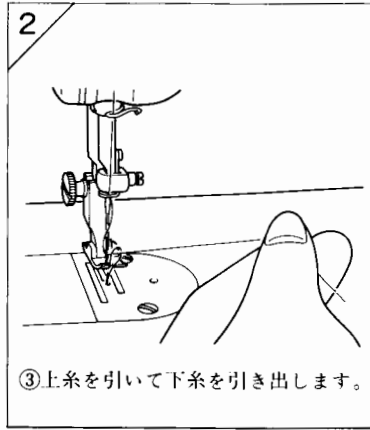
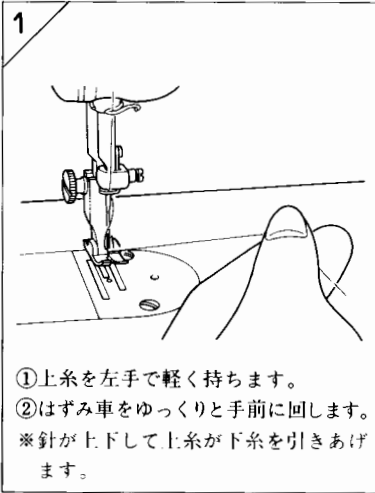
上糸のかけ方

番号順に糸をかけます。



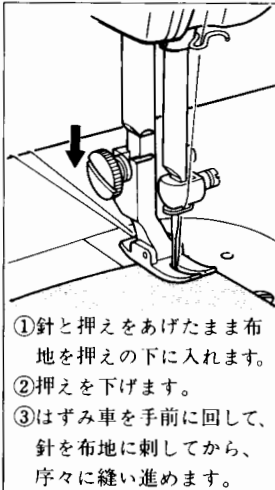
※上糸は左よりの糸をご使用ください。右よりの糸は糸切れや目とびが発生します。

下糸の出し方

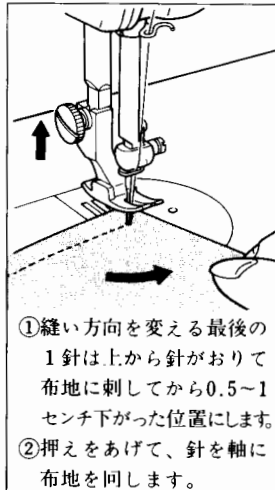


ご注意：縫う前には天びんが一番上になっていることを確認してください。天びんが下から上にあがる状態ですと上糸が針穴からぬけることがあります。

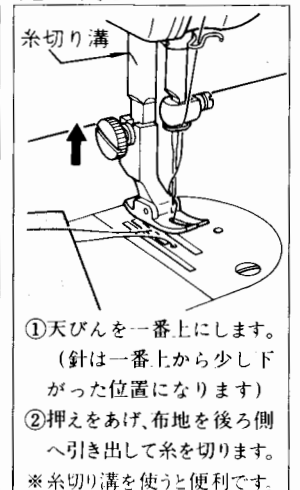
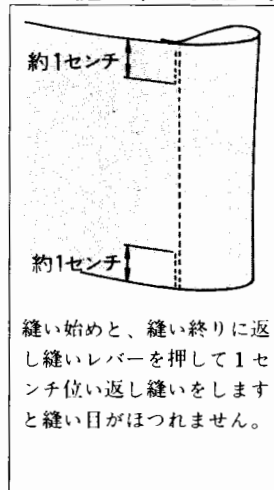
縫い始め



縫い方向を変える



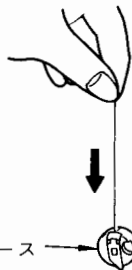
返し縫い(とめ縫い) 縫い終り



※針が一番下から上にあがる状態で、縫い方向を変えますと、角の1針が目とびすることがあります。

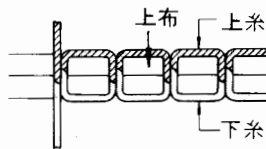
糸調子のとり方

ホビンケースの糸調子は右図のように軽くふって序々に落ちる程度が目安です。(糸は#50)
この下糸の張力に合わせて上糸の糸調子を調節してください。



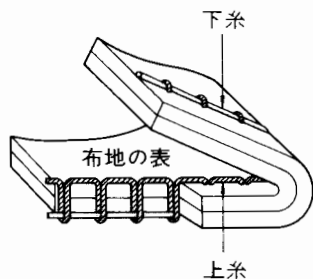
ホビンケース

正しい糸調子



糸調子が正しく調節されていないと布地にしわがよったり、縫い目がきたなく糸が切れたりします。

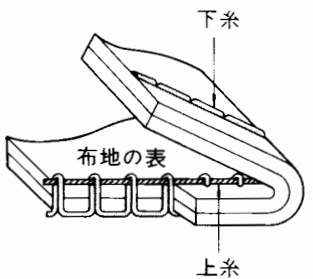
上糸が弱い



糸調子ツマミ

強くする

上糸が強い

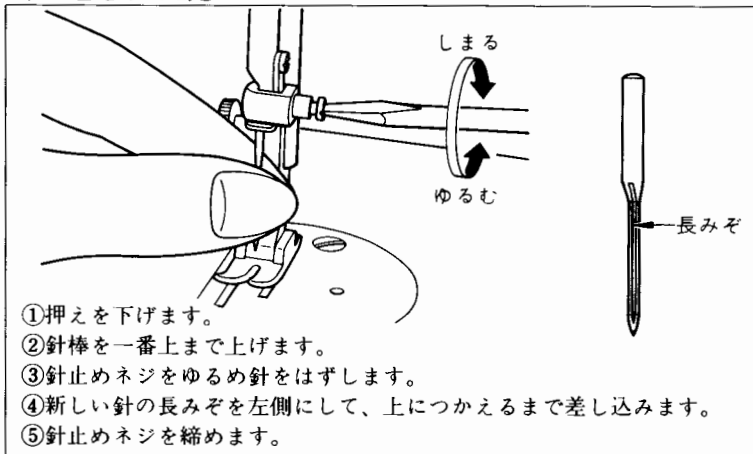


弱くする

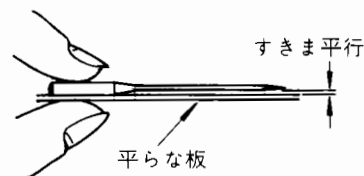
布地・ミシン糸・ミシン針の関係

	布地	ミシン糸	ミシン針 (DB×1)
薄地縫い	ローン	カタン糸 #80	No.9
	ジョーゼット	絹糸 #50	
	トリコット	化繊糸 #60	No.11
	ウール・ジョーゼット	絹糸 化繊糸 #50	
普通地縫い	ギンガム	カタン糸 #60~#80	No.11~14
	薄手ジャージー	化繊糸 #60	
	ギャバジン フラノ	絹糸 #50	
厚地縫い	デニム	カタン糸 #20~#50	No.14~18
	帆布	化繊糸 #50	
	ツイード	絹糸 #50	

針のとりかえ方



正しい針の調べ方




※針の不良は、目とび・糸切れ・布地をいためる原因になりますので、ときどき点検をしてください。

糸調子のとり方・布地、糸、針の関係・針のとりかえ方

糸案内台(下糸巻き)の調整方法

正しい巻き上がり



糸案内台のネジをゆるめて調整します。

下が多い ↑ 上げる

上が多い ↓ 下げる

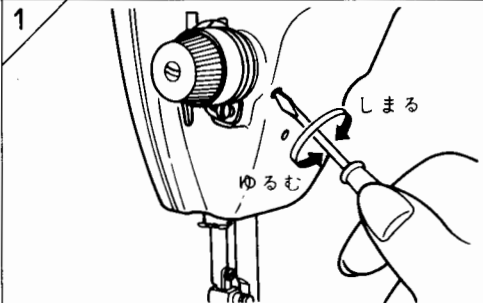
ゆるむ

しまる

ボビンに糸が平均に巻かれていないと、下糸の糸調子が悪くなる原因になります。

糸取りバネの調整方法

1



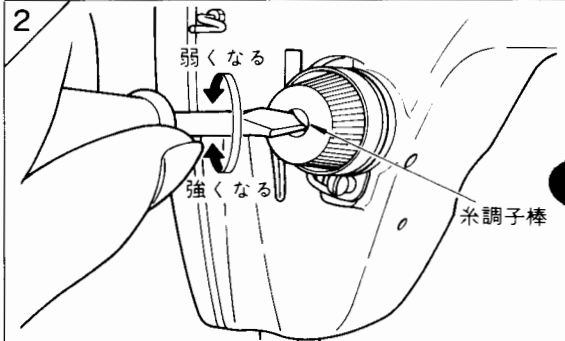
ゆるむ

しまる

- 糸取りバネが強い→布ちぢみが発生しやすい。
- 糸取りバネが弱い→カマに糸がくい込みやすい。

①止めネジをゆるめます。

2



弱くなる

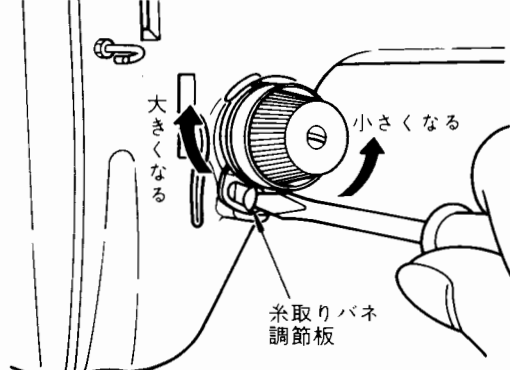
強くなる

糸調子棒

②糸調子棒で糸取りバネを調整します。

③調整後止めネジを締めつけます。

糸取りバネの運動量の調整方法

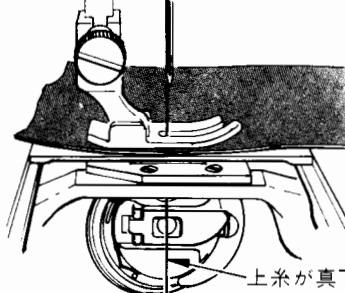


大きくなる

小さくなる

糸取りバネ調節板

上糸、下糸と布地をセットし、はずみ車を手で回しながら調整します。



上糸が真下に来たとき

- 運動量が大きすぎる→目とびが発生しやすい。
- 運動量が小さすぎる→カマに糸がくい込みやすい。

※糸取りバネの運動量が正しいと、カマの剣先を上糸をかけてほぼ真下に来たとき、糸取りバネがはたらき始めます。

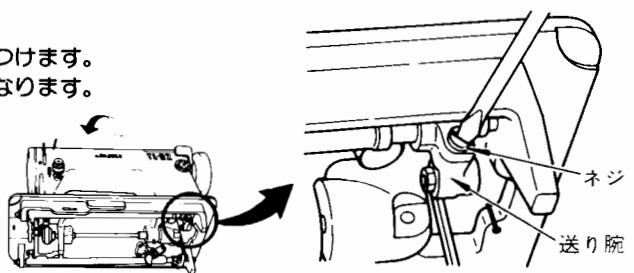
送り歯の高さ調整方法

- 送り歯の出すぎは→布地にしわが出ます。
布地にくい込んでキズつけます。
- 送り歯が低すぎは→厚物の布地を送らなくなります。

①アームベッドを向う側に倒します。

②送り腕ネジをゆるめ最適な位置に合わせます。

③送り腕ネジを締めつけます。

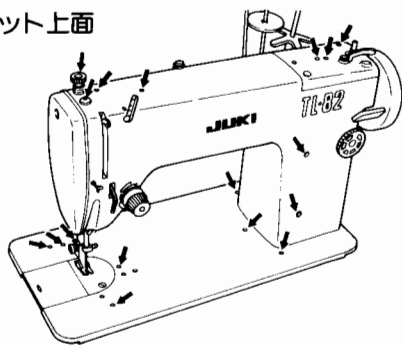


ネジ

送り腕

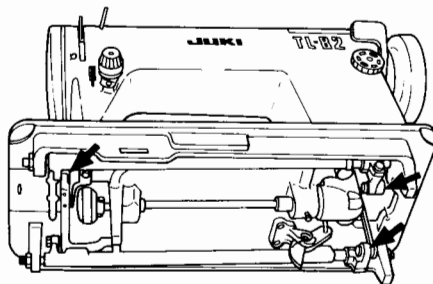
注油のし方

アームベット上面



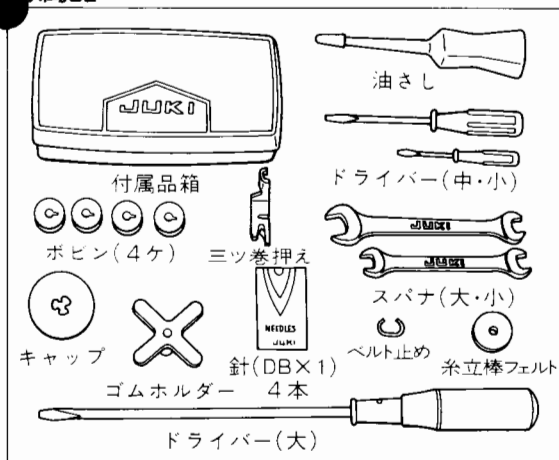
- 矢印の箇所に2～3滴注油してください。
- 付属のミシン油(ニューデフリックスオイルNo.1)をご使用ください。
- 毎日ご使用の場合は1日1回注油してください。

ベット裏面

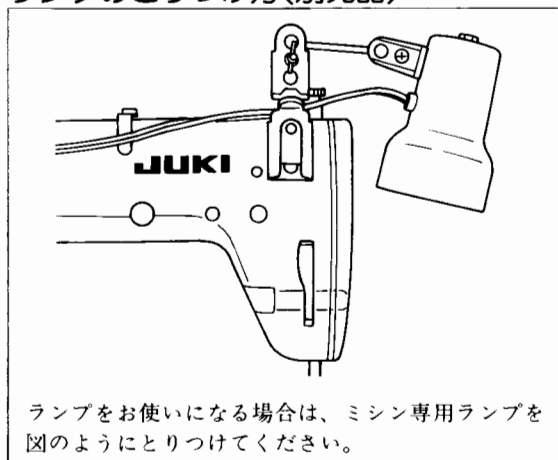


※カマ部の注油後は必ず試し縫いをしてください。

付属品



ランプのとりつけ方(別売品)



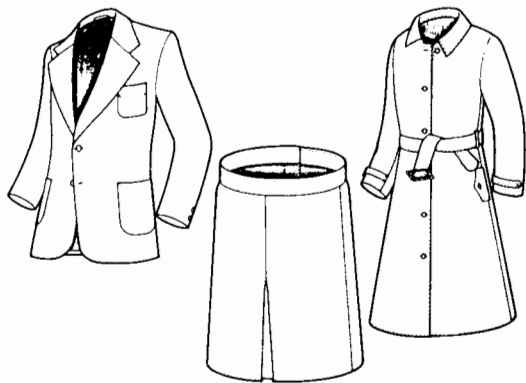
かざりステッチ縫いについて

この職業用ミシンで縫い目の長さ(送りピッチ)最大6ミリまでのかざりステッチが美しく縫えます。

使用する糸は標準の地縫い糸から#8までのステッチ用糸までお好みに応じて使用できます。糸の選択により右表の針と交換してください。

糸の番手	針の番号
#80～50	No.11
#60～50	No.14(11)
#50～30	No.16
#20～8	No.18

応用例



TL-82型仕様表

項目	仕様
縫い速度	常用1500針/分 最大1800針/分
縫い目の長さ	最大6ミリ
針棒ストローク	32ミリ
押え上昇量	7ミリ ヒザ上げ12ミリ
使用針	DB×1
給油方式	手指し給油
潤滑油	ニューデフリックス オイルNo.1
伝導ベルト	丸革ベルト 径7ミリ
ベットサイズ	399×178ミリ

調子よく縫えない原因と調整方法

基本的な調整ができていませんと故障が起りやすいですから、よくご確認ください。

現象	原因	調整方法	ページ
目とびがする	1. 針が曲っている、針先がまるいとき	・針を交換します	4
	2. 針が針棒に正しくとり付けていないとき	・針を正しくとり付けます	4
	3. カマと針との関係が違っているとき	・カマと針の関係を正しくします	※
	4. 糸取りバネの運動量が多すぎるとき	・運動量を少なくします	5
上糸が切れる	1. 糸のかけ方を誤ったとき	・糸のかけ方を正しくします	3
	2. 糸の張力が強いが弱すぎるとき	・張力を合わせます	4
	3. 針が曲っているか針先がまるいとき	・針を交換します	4
	4. 糸と針の太さが合わないとき	・糸と針の太さを合わせます	4
	5. 糸取りバネの張力が強すぎるとき	・張力を正しく合わせます	5
下糸が切れる	1. 糸の張力が強すぎるとき	・張力を弱くします	4
	2. ホビンケースのバネが摩擦して溝が生じたとき	・ホビンケースを交換します	2
	3. 針板の針穴にキズがついたとき	・針板を交換します	※
針が折れる	1. 針が曲っているか取り付け方を誤ったとき	・針を交換し正しく取り付けます	4
	2. 針板や押えに針が当たるとき	・針や針板、押えを正しくつけます	※
縫い目にしわがよる	1. 布地に対して押え調節ネジが強いとき	・押え調節ネジを弱くします	1
	2. 上糸と下糸の張力が合わないとき	・張力を合わせます	4
	3. 糸取りバネの運動量が多すぎるとき	・運動量を少なくします	5
	4. 針が布地に対して太すぎるとき	・針を布地に合わせて交換します	4
縫い目の調子が悪い	1. 上糸と下糸の張力が合わないとき	・張力を合せます	4
	2. 糸取りバネの運動量が不適當なとき	・糸取りバネの運動量を正しく合わせます	5

※上記で直らないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

JUKI

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎03-480-5655